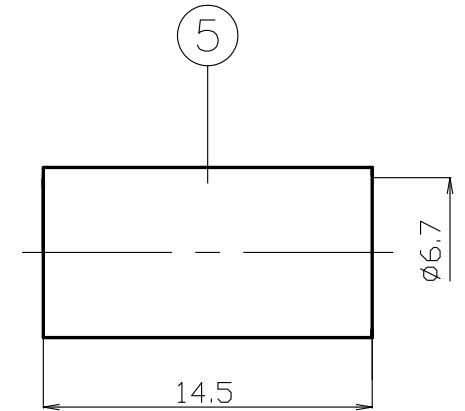
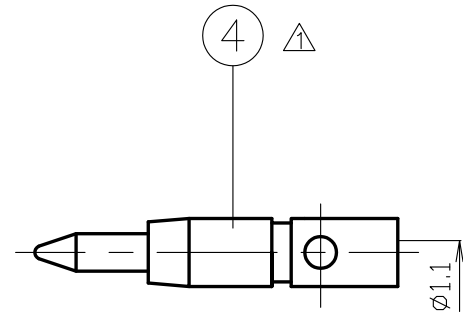
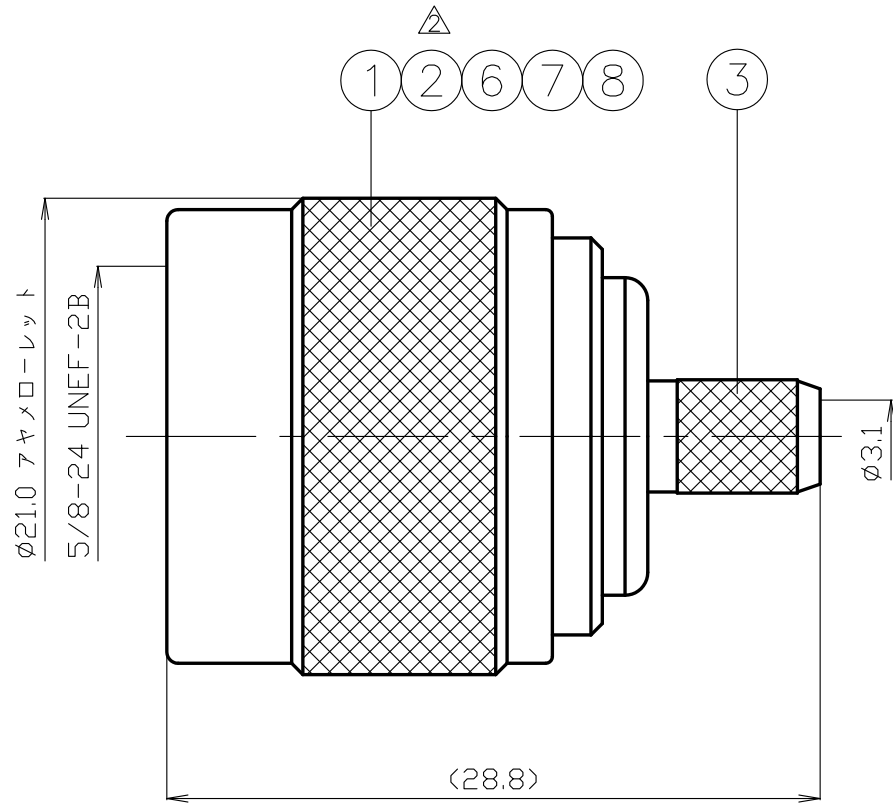


番号	変更・記事	日付	確認
△	改良の為、中心コンタクト寸法変更	2004,11,24	済
△	改良の為、絶縁体寸法変更	2004,11,24	済
△	社名変更	2012.01.05	済
△	図面外観化、RoHS表記追記	2017.01.26	済
△			



RoHS Compliant $Cd \leq 75ppm$	
REMARKS	BRASS: Cd $\leq 75ppm$ PHOSPHOR BRONZE: Pb $< 4wt\%$

番号	部品名	材質	数量	処理	備考
8	ガスケット	シリコン	1	--	
7	接続ナット	黄銅	1	Ni	
6	保持リング	リン青銅	1	--	
5	圧着スリーブ	黄銅	1	Ni	
4	中心コンタクト	黄銅	1	Au	
3	ホルダー	黄銅	1	Ni	
2	絶縁体	テフロン	1	--	
1	シェル	黄銅	1	Ni	

尺度	3/1
単位	mm
日付	2001.03.28

製図	検図	承認	確認
渡邊 '17.01.26 直弘	檜 '17.01.26 澤	山 '17.01.26 本	三 '17.01.26 村

投影法

株式会社 トーコネ
TO-CONN CO., LTD.

品名	NP-3WA
図番	S-0511277

仕 様 書

品 名 NP-3WA

No. 0510470

図 番 S-0511277

株式会社トーコネ

定 格 1 参考規格 JIS C 5411
 2 定格電圧 AC 500V
 3 定格周波数 10 GHz
 4 公称インピーダンス 50Ω

確 認	検 印	作 成
山	檜	山
12.01.05	12.01.05	12.01.05
本	澤	口

項 目	条 件	規 格
1	構造及び形状寸法	異常のないこと
2	材 質 (図番 S-0511277)	
3	仕上げ及び表示	
4	絶縁抵抗	DC 500V 1000MΩ 以上
5	耐電圧	AC 1000V 1分間 異常のないこと
6	接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1KHzの交流又は直流で1mVを越えない方法にて 3mΩ 以下
7	特 性	
8	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき 異常なく結合すること
9	ケーブル接続強度	軸方向引張力 147N以上 異常のないこと
10	結合部接続強度	軸方向引張力 約294Nを加えたとき 接続ナットに 異常のないこと
11	繰り返し動作	5000回の抜き差し後 接触抵抗は10mΩ 以下

GKQM-19-1

	変更履歴	日 付
1	社名変更	2012. 01. 05
2		
3		

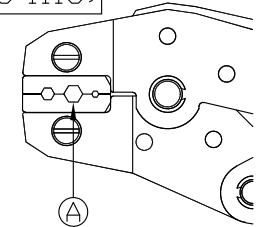
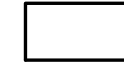
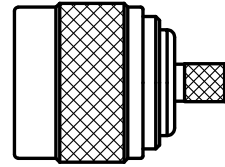
NP-3WA 取付仕様書

適合ケーブル 3D-2W \triangle

専用圧着工具
TA-34
(本体表示: DCC 1113)

図番
S-0511277

部品構成



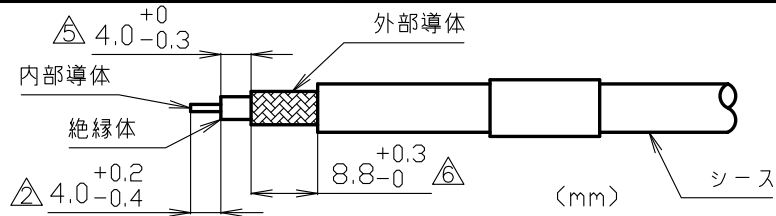
シェル

中心コンタクト

圧着スリーブ

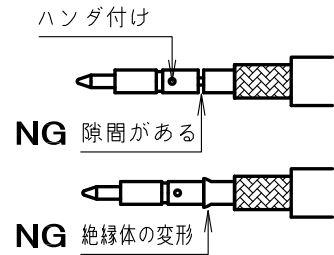


製図	検図	承認	確認
渡邊 '18,07,04 直弘	檜 '18,07,04 澤	山 '18,07,04 本	三 '18,07,04 村



番号	変更・記事	日付	\triangle	適合ケーブル追記	2018.05.23
\triangle	社名変更	2012.01.05	\triangle	2.5 \rightarrow 4.0 ± 0.3 寸法変更	2018.05.23
\triangle	3.0 \rightarrow 4.0 ± 0.4 寸法変更	2018.05.23	\triangle	10.3 \rightarrow 8.8 ± 0.3 寸法変更	2018.05.23
\triangle	② 取付方法追記	2018.05.23	\triangle	圧着スリーブクリップ高さ変更「6.55 \sim 6.60mm」 \rightarrow 「6.54 \sim 6.65mm」	2018.07.04

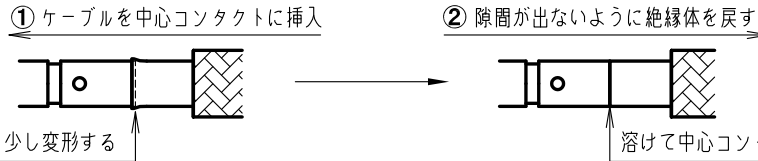
① 同軸ケーブルへ圧着スリーブを通し、シース、絶縁体、外部導体を図中の寸法で切りとる。



ケーブル絶縁体(PE)は大変熱で変形しやすい材質です。隙間及び変形しないコツとしては、ケーブル絶縁体が中心コンタクトに触れる際、絶縁体が熱で透明になりますので、溶けた絶縁体に中心コンタクトを軽く押し当てて、隙間が出ないようにケーブルを戻すと変形が少なく、隙間も出辛くなります。

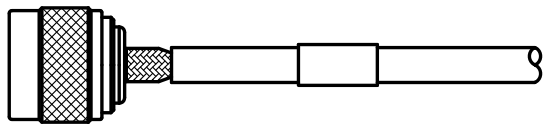
\triangle ② 中心コンタクトを内部導体に装着し、ハンダ付けをする。

- 注意: 1,ハンダが盛り上がらないこと。
2,中心コンタクトと絶縁体の隙間がないこと。
3,ハンダ付け後、中心コンタクトを引張り抜けないかを確認すること。
4,ケーブル絶縁体の変形がない事。

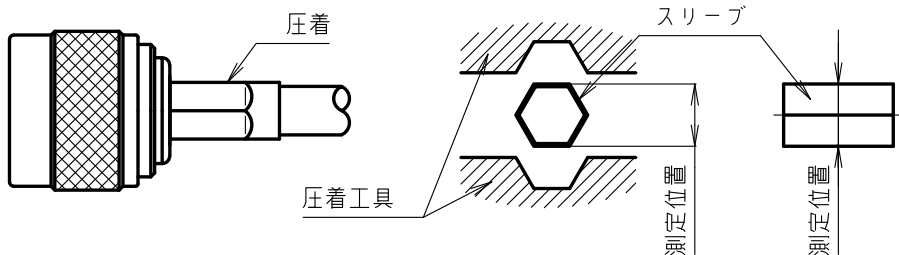


熱で絶縁体が溶けて透明になり、少し変形する

溶けて中心コンタクトに付いた絶縁体が引っ張られ少し変形が戻る



③ シェルを同軸ケーブルの絶縁体と外部導体の間に装着する。(この時ピンと中心コンタクトが定位置に入ったことを確認する。)



④ 装着が終わったら、圧着スリーブを図の位置まで上げて圧着工具のA部で圧着して作業を完了する。この時、図中の位置で寸法を測定し、クリップ高さにより工具の強度調整用ダイヤルを設定して下さい。

強度調節ダイヤル

\triangle 測定位置でのクリップ高さ6.54 \sim 6.65mm

